

授業科目名 <英訳>	考古学(特殊講義) Archaeology (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 岡村 秀典				
配当学年	全回生	単位数	4	開講期	通年	曜時限	月2	授業形態	特殊講義
題目	漢鏡の研究(8)								
【授業の概要・目的】									
<p>漢代の中国鏡について、考古学の型式学的研究法、図像や銘文の研究法、鏡にたいする観念、銅鏡の鑄造方法、銅鏡の理化学的分析などをめぐる研究の現状をふまえ、今年度はおもに後漢鏡の変遷と文化史的背景、日本列島への漢鏡の流入と国家形成について論じる。受講により、考古学の研究方法について理解を深めるだけでなく、人文科学における考古学の役割についても展望することができる。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>前期は宋代以来一千年におよぶ古鏡の研究史を回顧し、研究の課題と展望を示す。後期は後漢中後期の銅鏡をおもな対象として、以下の内容について講述する。</p> <p>古鏡研究一千年 中国・日本・欧米におけるパラダイム 型式学とその問題点 考古学的研究法と美術史的研究法 分布論とその問題点 作家論の構築 後漢鏡の図像について 後漢鏡の銘文について 後漢時代の社会と文化 日本列島から出土する漢鏡 鏡からみた日本の国家形成</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
学年末試験。									
【教科書】									
プリントを配布する。									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))									
<p>京都大学総合博物館をはじめ、各地の博物館や美術館に展示されている銅鏡の図像文様をよく観察しておくこと。また、漢鏡の図像や銘文を理解するには、中国古代史はもとより、文学や言語学、思想史などにかんする幅広い知識が必要であるから、あわせて関連する講義を履修することが望ましい。</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									